

ツルパワーガード TG-200AL (アルミタイプ) 施工手引き

1. はじめに

材料の確認

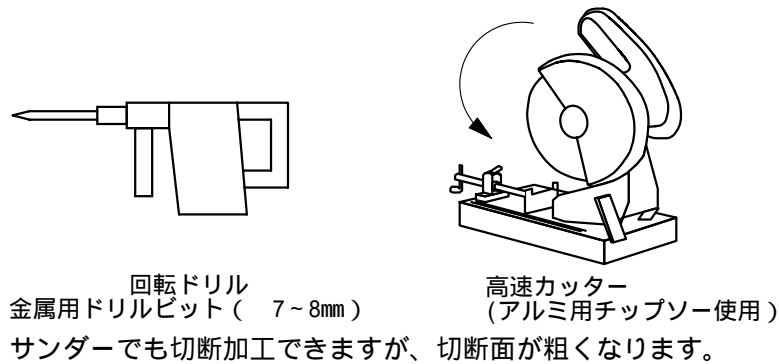
御注文いただきました資材及びその数量をご確認下さい。

傷や汚れから製品を保護するため、保護フィルムは必要な場合を除き施工完了後まで剥さないでください。

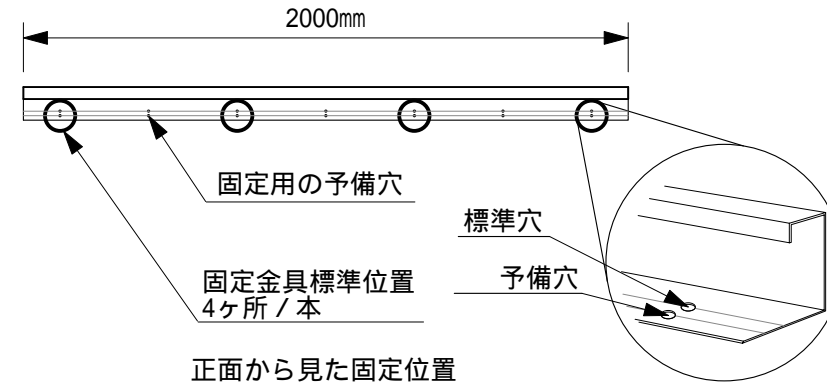
工具の準備

本製品は、壁材によって取付方法及び部材が異なります。詳しくは、別紙「ツルパワーパネル施工手引き」をご参照下さい。

本製品の加工が必要な場合は、金属用ドリルや高速カッターをご準備下さい。



2. 本体の取付



壁材の端部等が破損する恐れがある場合は予備穴を使用

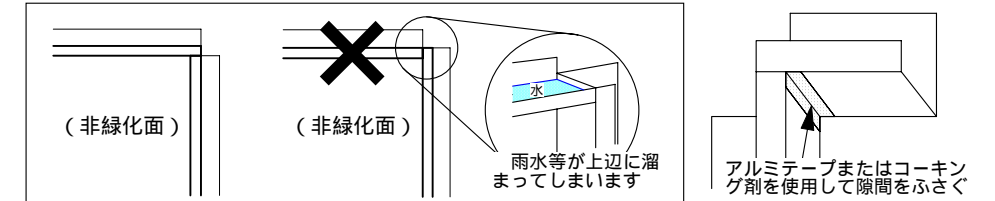
固定金具で壁面に固定します。
(標準4ヶ所/本 他は予備穴です)
壁材により固定金具及び取付方法が異なります。詳しくは、別紙の「ツルパワーパネル施工手引き」をご参照下さい。

素手で作業しますと、本体に指紋が付いたり切り傷を負うことがありますので、軍手などを着用の上お取り扱い下さい。壁の母材強度により、固定金具は追加して下さい。多雪地域において設置する場合は、オプション材として補強金具があります。

3. コーナー接続

《入隅の場合》

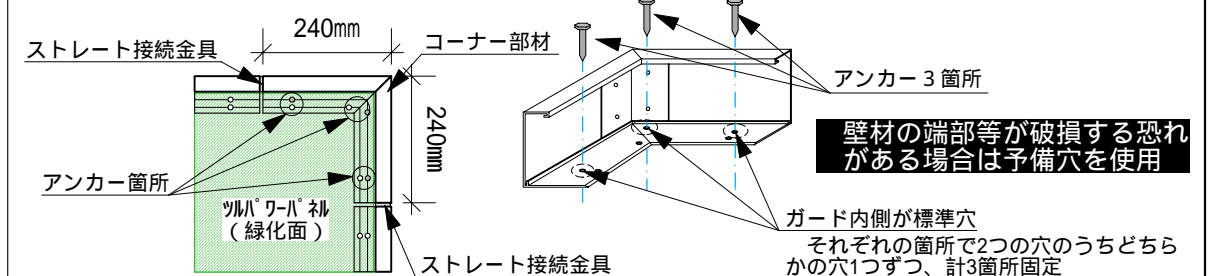
入隅の場合は本体同士を突き合わせて設置します。本体接合部分にアルミテープもしくはコーキング剤を使用して隙間をふさぐと、より確実に非緑化面へのツルの侵入を防止します。



《出隅の場合》

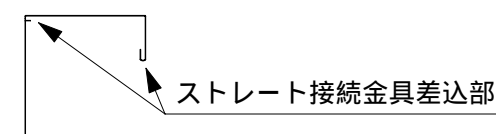
出隅の場合は専用コーナー部材もあります。部材は図のように、各辺の端部近くの穴のうち1箇所ずつと、角の浮き上がりを防ぐため部材中央の2つの穴のうち1箇所の計3箇所をアンカーで固定してください。

(それぞれの場所において、2つの穴のうちどちらかに打ち込んでください)
コーナー部材と本体の接続の際は、ストレート接続金具を使用してください。
(接続方法は「4. ストレート接続」を参照ください)

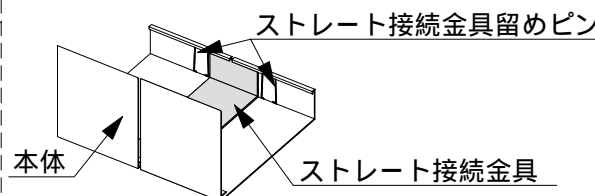
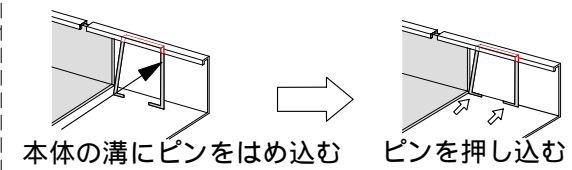


4. ストレート接続

《本体断面図》



《ストレート接続金具留めピン固定方法》

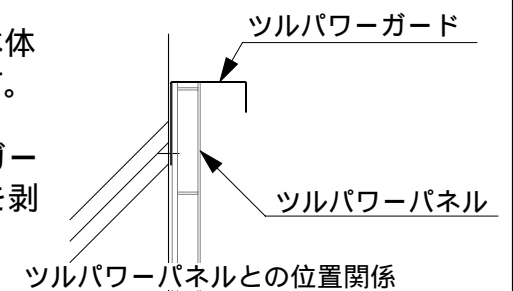


ストレート接続金具留めピンは、ストレート接続金具のズレを防止するためのものです。コーキング剤でも代用可能です。

5. 仕上げ、ツルパワーパネ設置

ツルパワーパネルは、ガード本体の内側に差し込んで設置します。

施工が完了したらツルパワーガードに付いている保護フィルムを剥します。



6. 接続金具の標準位置

コーナー接続 (出隅)

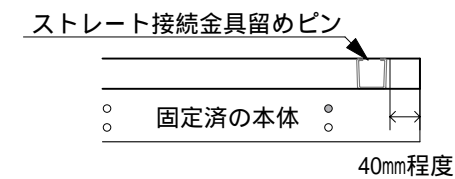
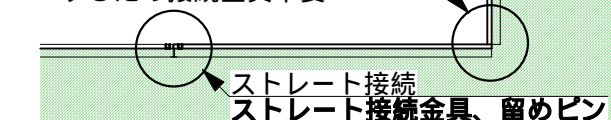
コーナー部材

コーナー部材と本体の接続部にはストレート接続金具使用

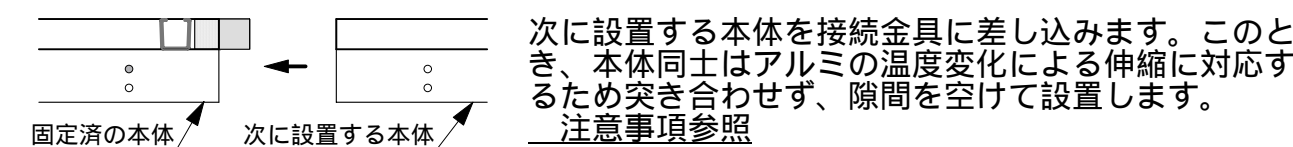
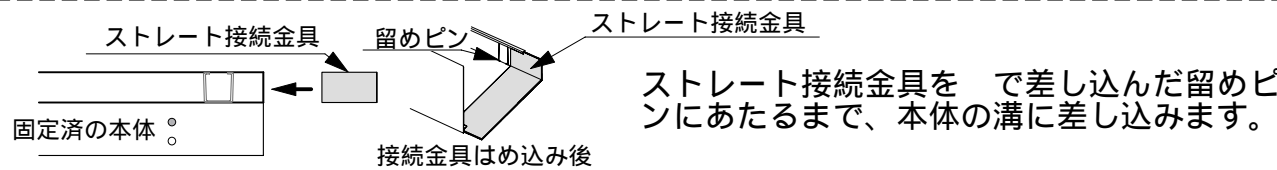
(非緑化面)

コーナー接続 (入隅)

本体同士を突き合わせて設置するため接続金具不要



固定済みの本体にストレート接続金具留めピンを、端部から40mm程度あけてはめ込みます (接続金具が動くことを防ぎます)。



で設置した本体に留めピンをはめ込みます。

注意事項

アルミの温度変化による伸縮に対応するため、本体同士は突き合わせず、下記の間隙を空けて設置します。

(4月~9月:1mm、10月~11月:1.5mm程度)

アルミの温度変化に伴う伸縮は、温度差60度、固定されている場合で1.4mm(2m当たり)です。